

よこはた和幸事務所：〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 4-1-12-8 階 TEL:078-335-0661 FAX:078-335-0662

決算議会のご報告

令和5年第3回定例市会

本会議および特別委員会にて会派を代表し質疑！

神戸のランドマークの設定など

建設的な「神戸の未来への投資」を提案！

9月14日から10月24日まで決算議会が開催されました。令和4年度一般会計決算・特別会計決算・企業会計決算について様々な議論が重ねられました。一般会計で、11億2,700万円の黒字達成や26年連続プライマリーバランスの黒字を確保しています。市税収入も過去最高となり、一時期に比べると財政状況は安定してきていると思います。物価高騰や少子高齢化でも社会保障費の増大という難題にも備えつつ、「人への投資」や「神戸の未来への投資」を進めていくべく建設的な提案をいたしました。

9月22日には「こうべ未来市会議員団」を代表して質疑をいたしました。内容を抜粋しご報告いたします。



9月22日代表質疑

神戸のランドマークタワーについて

よこはた 神戸空港の国際化を視野に入れば、「神戸といえば」というランドマークが必要です。例えば、医療産業都市のサイエンスを活かして、科学未来館や自然史博物館など「すべて・遊べて・リピート」の多い施設の誘致をしてはどうか。大阪・京都・奈良にはない神戸夜市の常設化を新たなランドマークとすべき。

今西副市長 新たなランドマークが必要とご指摘でございます。ポートタワーや神戸アリーナ、神戸須磨シーワールドなど新たなランドマークとして、さらなる観光客が訪れるのではないかと考えています。また異人館、南京街、六甲山、有馬温泉などもそれぞれのエリアでのランドマークと考えています。

小原副市長 日本科学未来館では、未来の再生医療を疑似体験が出来る展示があり、大変参考になると考えています。ポートアイランドに立地している青少年科学館の活用を考えています。

国内最大級のバイオメディカルクラスターへと発展した医療産業都市の取り組みの紹介をすることが重要なテーマと考えています。アバターロボットとITを活用して入院中の子供たちが遠隔で体験できるものや、AR技術を使って宇宙体験をできるような展示を考えています。インバウンドのニーズに答えられるように、またランドマークとなるような事業を進めて参りたいと考えています。

よこはたはこう考える 大阪にはUSJ、京都や奈良と言えば神社仏閣です。海や山や、神戸ビーフなど総合的に神戸は魅力あるランドマークになる資源はありますが、関西で存在感を出すためには、神戸にしかない博物館誘致や神戸夜市の常設化をしたいと考えます。

こどもの主体性を育む教育について

よこはた 今年4月に「こども基本法」が施行され、子供の意見反映が位置づけられました。子供の意見の反映をしっかりしてもらいたい。子供にとって自分の意見が施策に直接反映されるという自覚が必要です。自分で考え、自分の意見を持つことが必要と考えます。学校園で、その環境づくりやきっかけ作りをしていただきたい。

おひとりさまへの支援について

よこはた 65歳以上の高齢者でひとり暮らしをされる方は全国で743万人、神戸でも10万1,752名おられます。(2020年国勢調査)社会的に孤立しやすく、ひこきもりにも繋がってまいります。近くに頼る方がいない方々には、買い物支援や病院同行、施設入居の保証人、家財処理など支援は必要です。「この1冊あればおひとりさまでも安心」というような支援をパッケージ化していくべき。

久元市長 神戸市としても、合葬式墓地の設置や、遺贈寄付に関する協定の締結など取り組みをしてきました。ひとり暮らしの高齢者の皆様に対しては、様々な施策を展開していますが、バラバラ感があり、パッケージとして提供するということがご指摘の通りです。パッケージ化に向けて取り組みを進めていきたいと考えています。その際に、ひとり暮らしの高齢者の方々が孤立孤独から脱却するような視点が大事と考えています。

よこはたはこう考える 明日は我が身の状況がおひとりさまです。益々増加傾向にあり、神戸市は今までバラバラな福祉対策でしたが、早急にパッケージ化を考えております。民間や他都市でも、生前に葬儀会社と契約し予約した方へのサービスや、行政にかかりつけ医や緊急連絡先などの登録制度などの施策も出ていますので前へ進めていきたいと考えます。

教育長 学校園におきまして、子どもの権利に関する条約およびこども基本法の趣旨を踏まえて、子供達の意見を学校活動に反映させるとともに、自らの意見が取り入れられることによって、自己肯定感を高め、達成感を味わうことは重要であると認識しています。学校園におきまして、子供達が自ら考え、話し合っ、主体性を育む取り組みを推進していきたいと考えています。

よこはたはこう考える 教育行政は、教育委員会が担っています。しかし、こども基本法を機にこども家庭局や市長室など、縦割り行政でなく、横断的のものが必要と考えます。まだまだ、大人に従うべきという風潮もありますので一歩踏み込んだ施策をすべきと考えます。また学校だけでなく家庭でも、子供自ら考え、意見を持つように仕向けていくことも大事と考えます。

特別委員会での質疑

私の担当は、行財政局・市長室と企画調整局でした。質疑の内容を抜粋してご報告いたします。



9月26日決算質疑

行財政局・市長室

迎賓館の設置について

よこはた 国際都市である神戸市には、各国から訪神された賓客を迎える迎賓館がありません。現在は市役所や市内ホテルでレセプションを行っています。さらなる国際交流を進展すべく迎賓館的な役割が大事です。公館等を設けてもらいたい。

市長室長 賓客については、表敬は基本的に神戸市役所で行っています。レセプションは、先方の意向や行程などからホテルで行っています。国際交流から迎賓館は有効ですが、神戸クラブや北野界限には資する施設もあり民間とも相談したい。

よこはたはこう考える 国際都市として、迎賓館は必要と考えます。現状では市自体が整備する予算はないのですが、相楽園など民間との調整を図ればと考えます。

総領事館等との交流について

よこはた インドネシア総領事が交代されることになりました。総領事館は大阪市内ですが、公邸は神戸市にあります。しかし、交流はほとんど為されていないと伺いました。インドネシアだけでなく神戸市内に総領事や名誉領事館があります。公邸がある領事館含めて積極的に交流を図るべき。

国際部長 総領事から相談を受けて、医療産業都市や水素関連施設への見学や市内大学生とのマッチングなど行っています。港湾局ではパナマ、経済観光局ではドイツやベトナムなど交流を図っています。さらに国際交流を進めて参りたい。

よこはたはこう考える 神戸にはパナマと韓国が総領事館を設置しておられます。震災以降多くの国の総領事館は大阪へ移りました。神戸空港の国際化を視野に、総領事館の誘致をすべきと考えます。また各国の名誉総領事館も多く、積極的に交流を図りたい。

公有財産の総点検について

よこはた 神戸市では、不動産、有価証券など保有をしています。当然のことながら、適切に管理をしていると思うが、中には取得経緯が不明なもの、市が持つべきか理解しにくいものがあります。市民に説明しにくいと考えます。経緯を含めて総点検をすべきである。

副局長 毎年、自主監査を行い、現金・物品など点検しています。今年よこはた委員のご指摘を受けて取得経緯も含め点検すべく通知をしたところです。

よこはたはこう考える 高度成長期に取得した株が存在し、取得経緯が不明なものがあります。神戸市民の共通の財産です。全面公開することが大事だと考えます。

市政報告会のご案内

と き： **11月26日(日)**
午後2時00分～(1時間程度)

どなたでも
ご参加
いただけます

ところ： **センタープラザ西館6階9号室**

決算議会での発言や議論をさらに詳しく、皆さまに直接ご報告させていただきます。お誘いあわせのうえ、ぜひご参集くださいませ。

企画調整局

シンクタンク・都市政策研究の推進について

よこはた 神戸市の中長期的な課題やビジョンを研究しているシンクタンクは戦略的に活用すべきだと考えます。人数・規模を含めて、さらに強くしていくべき。

局長 2050年頃を見据えた都市像と課題解決を整理する目的で、令和3年に、都市研究を神戸大学の武田理事長はじめ4人でアドバイザリーボードを設けています。具体的には統計資料を踏まえた議論をしています。気候変動に適した都市のシミュレーションや少子高齢化における地域コミュニティの在り方など中期的な将来像を議論しています。

よこはたはこう考える シンクタンクは必要であり、そのソフトハード含めて強化したい。特に人口減少に対する政策の展開には役に立たせたいと考えます。また神戸には約20の大学があり、連携強化で施策の発掘に取り組むべきと考えます。

指定都市市長会会長としての取り組みと成果について

よこはた 指定都市市長会の会長に、昨年より久元市長が就任しました。新型コロナウイルス感染症対策の際に、指定都市の権限は限定的でした。交付金についても都道府県に事務が集中して遅延が遅れる事象が多くあった。権限委譲の実現に向けて一層の働きかけをすべき。

局長 昨年4月に神戸市長が会長として就任しています。国民の22%の人口を有しているのが指定都市です。現場を知る都市部への権限移譲について、実現に向けて活動をしています。

よこはたはこう考える 神戸市など指定都市への権限委譲はなかなか進んでいません。地方分権も併せて進めていくべきで、議会側も、指定都市の議員同士の繋がりを強化し、国への要望をしたいと考えます。

神戸未来医療構想について

よこはた 医療産業都市のこれからの10年後20年後の将来像を検討される中、医工融合は非常に重要と考える。神戸未来医療構想をさらに進めていただきたい。

産学連携推進部長 神戸未来医療構想は、産学連携で地域専門人材の育成等を支援いたします。内閣府の地方大学・地域産業創生交付金事業に採択されたものです。ポートアイランドの神戸大学医学部を実証改良の拠点として活動しています。医療従事者と工学開発企業がワンチームとなって研究開発をしています。具体的には国産手術支援ロボット「ひのとり」など研究開発をしておりさらに前へ進めたい。

よこはたはこう考える 令和5年4月には神戸大学院で医療創成工学を創設し、令和7年には学部の開設も目指しています。土壌は揃いました。医工融合で機器の開発を推進し、医療産業都市を強くすることで神戸の産業を強くしたいと考えます。

医療産業都市の認知向上について

よこはた 医療産業都市について、スパコンなど有能なものも出てきています。市民認知が低いと考えます。特に、小中学生などにより早い段階で魅力を発信してもらいたい。

医療産業担当局長 神戸の子供たちに魅力を伝え、興味や関心を持ってもらうことが、ひいては理科、理系の人材育成につながる。神戸で機器開発や研究する人材を育てていきたいと考えています。スパコン、IPS細胞、など有名な例もあり、小中学校への出前授業や親子向けオンライン授業動画作成や、中学生への副読本などを通じて周知したい。

よこはたはこう考える 医療産業都市の知名度は低い。国内最大級のメディカルクラスターですので、神戸空港の国際化を見据え、さら発展させていきたい。あらゆる場面を通じて市民還元したいと考えます。

OPEN神戸～市民に開かれた市政～

神戸市会議員
中央区

かずゆき
よこはた和幸
市政報告会のご案内



決算議会の内容をご報告!

皆様のご意見・お声をお聞かせください

市政報告会

どなたでも
ご参加
いただけます

と き：11月26日(日) 午後2時00分～(1時間程度)

ところ：センタープラザ西館6階 9号室

住所：神戸市中央区三宮町2丁目11-1

※ご参加いただける方は裏面の事前申込書のご提出をお願いいたします。

9月14日から10月24日まで決算議会が開催されました。令和4年度一般会計決算・特別会計決算・企業会計決算について様々な議論が重ねられました。一般会計で11億2,700万円の黒字達成や26年連続プライマリーバランスの黒字を確保しています。市税収入も過去最高となり、一時期に比べると財政状況は安定してきていると思います。物価高騰や少子高齢化でも社会保障費の増大という難題にも備えつつ、「**人への投資**」や「**神戸の未来への投資**」を進めていくべく**建設的な提案**をいたしました。

また、議員の報酬は皆さまからの税金です。税金をお支払いいただいている皆さまが、私の雇用主です。雇用主には報告義務があります。今回の決算報告として市政報告会を開催いたします。

神戸市政が市民から遠くならないように努めていきたいと存じます。また、皆様から、ご意見など、お声をいただきたく考えています。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参集いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

市会議員 **よこはた 和幸**

よこはた和幸事務所

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-1-12-8階

TEL: 078-335-0661 FAX: 078-335-0662

E-mail: info@yokohata.net

編集・発行

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1

TEL: 078-322-5844 FAX: 078-322-6161

よこはた和幸 市政報告会 参加申込書

お申込み代表者様

ご氏名 (他 名)

ご住所

ご連絡先

事前にご質問やご要望がございましたらご記入くださいませ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご記入後は、下記までFAXにてお申込みをお願いします。

FAX : 078 - 335 - 0662

(よこはた和幸広聴事務所宛)

郵便はがき



料金別納郵便

ひとりひとりを大切に！

川内きよなお 市会報告 2024年 新年号 No.2

編集・発行：こうべ未来市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL(078)322-5884

ポストコロナ社会に向けて大きく前進

約3年半に亘って市民生活に大きな影響を与えた、新型コロナウイルス感染症もようやく終息に近づきましたが、一方でインフルエーザが猛威を振るい、医療提供体制が懸念されることです。引き続き市民の皆さまの生命と健康を守ることを最優先に、ポストコロナ社会に向けた施策に取り組みを参ります。

令和5年11月議会が閉会

給付金支給など補正予算案を可決

物価高騰の影響を受ける市民や市内業者への支援策などを盛り込んだ総額207億円の今年度一般会計補正予算案などを可決しました。

障がい者の親亡き後対策

障がい者の親亡き後対策は喫緊の課題です。現在、神戸市は①各区1ヶ所ずつ**障害者地域生活支援拠点**を整備し、障がい者やご家族からの相談窓口に加え、緊急時の短期入所、孤立リスクの高い障害者を地域に繋ぐ見守り支援事業を実施しています。②神戸市社会福祉協議会内に**成年後見支援センター**を設置し、制度の周知・啓発を行っています。今後は、グループホームの整備促進を図りながら、障がい者の親亡き後対策を強化していきます。

障害者手帳交付数（令和5年3月末時点）

身体	75,402件	精神	20,674件
知的	18,340件	合計	114,416件



西部在宅障害者支援センター（本多町）

信号機のない横断歩道の安全対策

横断歩道における歩行者等の優先については、道路交通法第38条に規定されており、ドライバーは横断中や横断しようとする歩行者がいる場合は、横断歩道の手前で一時停止しなければなりません。神戸市内において一時停止率は向上傾向にあるものの、依然として多くのドライバーが一時停止しないことから、横断歩道の視認性向上を図る目的で横断歩道のカラー化を行いました。現在市内各所でカラー化を行い、効果の確認を行っています。今後カラー化の効果を踏まえながら、他の箇所での整備について引き続き兵庫県警と協議・連携しながら検討していきます。

※兵庫県警による一時停止率調査（R4年度）
第1回 46.1% 第2回 58.4%
第3回 62.3%（神戸市内12警察署平均値）



垂水区星陵台での整備事例 ※R4.12末 道路整備にあわせて実施

ご相談はお気軽に

神戸市議員 **川内 きよなお**

〒655-0014 神戸市垂水区大町1丁目2-10
携帯 **080-6175-4877**
E-mail: bucq906@hi-net.zaq.ne.jp

いさやま大介



プロフィール

市政を身近に

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)
灘区の松蔭中学と神戸海星中高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。
地元少年野球部の元コーチ、地域子ども水泳教室の現コーチ。

2015年、19年、23年神戸市会選挙連続当選、現在3期目
経済港湾委員会所属。(2024年1月現在)
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。



発行元

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館27階
TEL: 078-322-5845 FAX: 078-322-6171

Vol.34

今期、初めての一般質問に立ちました！

未 利用魚の活用およびサステナブルシーフードについて

質問のポイント

- ☑ 「サステナブルシーフード」とは、将来にわたって持続可能であるよう、水産資源や環境に配慮した天然・養殖の水産物を示すということば。
- ☑ 本市では、神戸市漁業協同組合等と「サステナブルシーフード」を起点とした食文化醸成や観光振興による地域活性化に関する取り組みに関する連携協定を締結した。
- ☑ この協定により、どのような具体的な取り組みを実践し効果を期待しているのか。



○ 久元市長：令和4年の6月に締結した連携協定に基づき、市民漁業者へのSDGsの普及啓発、海洋資源の保全に関する教育研究検討、食文化醸成や観光振興による地域活性化などに取り組む。

実践例としては、SDGsに取り組む料理人専門家による市内の大学でのサステナブルシーフードに関する講義の開催、レストランにおいて未利用魚を取り入れたコースメニューの提供である。

また、関西ではあまり食べられないクロダイの活用は、

海苔の食害の防止と未利用魚の利用でも意味があると考え、関係者とあり方について検討していく。

○ 副市長：漁獲量が少なく、低価格で取引をされているアイゴなどの低未利用魚をふりかけなどの食品に加工する準備を進めている。漁業関係者、料理人、行政などが様々な立場から、この未利用魚に関する活動を行い、研究し、利用価値を高めることは水産資源の持続的で有効活用の観点からも大変重要であると考えている。



▶ 未利用魚を活用した釣り堀施設

議会風景



▶ 令和5年12月 一般質問 ▶ 同左

災害時要援護者の避難について

質問のポイント

- ☑ 「災害時要援護者の個別避難計画」について、約21万人の災害時要援護者のうち、重症心身障害児者、24時間人工呼吸器装着患者、ハザードエリアに居住している要介護5の方について、それぞれの計画作成にかかる取り組みが示された。
- ☑ 対象者への計画作成を、丁寧かつスピード感をもって進めることは大切であるが、重症心身障害児者の個別避難計画作成について、課題と今後の具体的な対策は。

○ いさやまの意見：作成時の負担感を解消できるような方法の検討を行い、スピード感を持って計画作成を進めていくとのやり取りがありました。

また、台風等の接近に伴う大雨に対し移動が困難な住民の避難については、緊急避難場所等を經由せず、優先的に直接避難できるスキームが必要ではないか、と再質問しました。

「災害時要援護者の避難」に関する制度設計にあたっては、「福祉避難所へは家族単位での避難ができない」などの当事者の意見を反映する仕組みが必要と考えます。神戸市からも、新たな福祉避難所の指定についても取り組みを進めている、という前向きな答弁をもらいましたが、粘り強い取り組みを進めていきます。



摩耶山再整備と今後のアクセスの検討について

質問のポイント

- ☑ 「摩耶山上エリアの利活用検討に関するサウンディング型市場調査」の結果概要が公表されたが、ホテル・ド・摩耶と掬星台を含めた摩耶山エリアの再整備の現状は。
- ☑ 「第7回六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会」にて、まやビューラインのロープウェー架け替えなど3案について、採算性を踏まえた議論がなされた。
- ☑ 山上への交通アクセスに関して、意図・狙い、またその課題を踏まえた見解は。

○ いさやまの意見：観光対地元活動の簡単な二項対立の議論にするのではなく、観光需要と今までの地元活動の共存共栄を前提として、質問をしました。

仮に、観光需要予測が高いとされる神戸布引ハーブ園接続ルートが採用されれば、現状の「まやビューライン」ルートを利用している摩耶山で活動する市民に大きな影響が出ますので、検討にあたっては十分な配慮を要すると考えます。

また、民間事業者が魅力ある再整備案を具体的に検討し実現するためには、リスクをふまえた需要予測を前提に、再整備とアクセスの一体的な議論が今後はより必要と考えます。まだまだ課題がたくさんあり、長丁場の議論となりますが、注視していきます。



▶ まやビューライン

★ 定期的に市政報告会を開催しています。電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail : info@isayama-daisuke.jp

討議資料



いとう 神戸市会議員

伊藤めぐみ

編集・発行

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161



神戸空港の国際化に向け、ベトナムとの友好を!

2025年、神戸空港は**神戸国際空港**としてアジアへの玄関口となる予定です。現在、新ターミナルの建設、交通アクセスの整備など進められている中、経済、文化、観光など様々な分野で神戸市と連携をしているベトナムを訪問しました。

ハナム省の工業団地には、神戸の企業が多数進出しています。今後、神戸ーベトナムの定期便就航に向けて、両国の友好関係と経済交流も築いていきたいと思ひます。



▲ 2023/11/10 日越外交関係樹立50周年に、神戸ベトナム友好議員連盟の事務局長として訪越 (中央右はカー人民委員会副委員長)



決算委員会 教育委員会&こども家庭局



- 不登校支援について、小学生の実態調査を
- 小学校の教科担任制について
- 義務教育学校八多学園について
- 児童虐待をなくすための支援について 他

◀ 2023/9/29
令和4年度決算のこども家庭局へ質疑しました



新しい神戸市会の公式サイト!

<http://shikai.city.kobe.lg.jp>

伊藤めぐみも市会広報委員として提案しました!
どうぞご覧ください





郵便はがき



いとう 神戸市会議員 北区

伊藤めぐみ

神戸市政のこと、お困りのこと
いつでもどんなことでもご相談ください!



〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字かんじゃ11-3
Mobile / 080-6111-9969 ✉ happy@itomegu.com

こうべ未来
市会議員団
ホームページは
こちらから



子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市議員
(東灘区選出)

やのこうじ

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
TEL / FAX 078-841-2255
✉ yano.koji2018@gmail.com
市議員団ホームページ▶ <https://kobe-miraisig.jp/>



編集・発行：こうべ未来 市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

昨年末の市長との懇談会にて、市立学校の安定的な学校運営体制の確保を中心に要望しました。市内の小中学校では、教員の慢性的な欠員が継続しており、欠員校では負担がさらに高まっています。児童生徒の不登校も増加している中、配慮を要する子どもたちへのきめ細やかなサポートも待ったなしの状況です。物価高騰の中、年金生活やひとり親の世帯から、生活苦の多くの声が届いています。また、超高齢社会による老老介護問題、介護施設や公共交通機関の運転手等の人材不足問題もより顕著になっています。今年もみなさまからのお声に寄り添いながら力を尽して参ります。

市長への教育予算増額と地域課題解決要望（昨年12月25日）

1. 未来を担う子どもたちが安心して教育を受けるために

- 小学校における教科担任制の充実など、各校への教員配置を神戸市独自に加配



2. 教員の多忙化解消に向けて

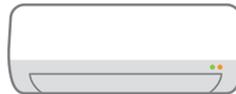
- スクールサポートスタッフの全校（245校）配置と勤務時間の拡充（現状：市立小中学校160校に配置、勤務時間は9時から11時）



市長への予算要望

※スクールサポートスタッフ…教職員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できるように、学習プリントなどの印刷や実技教科の教材準備を行う。

- 学校園内の全ての教室等へのエアコンの設置
- 各教室間をつなぐ通信機器の全校設置

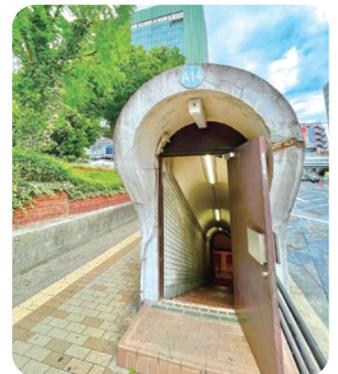


3. 神戸市内の歴史的建造物の保守

- 小寄公園（旧本山交通公園）の神戸市電への屋根の設置（今年度中に雨水防止のために、車両の隙間を埋める補修が行われることに）
- ガリバートンネル（三宮：地下道連絡口）三宮駅前再整備後の保存



車両の現状を説明



ガリバートンネル

戦後80年に向けて、市民が戦争の恐ろしさを学べる「展示施設の開設」も併せて要望

神戸市公式LINE

みなさまからのご相談が特に多い地域課題（道路、歩道橋、公園などの不具合）についても、神戸市公式LINEから投稿ができるようになりました。

記載のQRコードからご登録ください。



神戸市公式LINE

向洋町中6丁目公園のブランコ修繕（六甲アイランド）



改修後の様子

向洋小学校前にある公園の複合遊具が、老朽化のため使えない状態が継続。昨年12月に既存のブランコ部分を撤去し、新たにブランコを単体で設置していただきました。



委員会で現状を指摘

第10回 日展神戸展（2024年2月17日～3月24日）

日本最大級の総合美術展、日本美術展覧会「日展」が、六甲アイランドにある「神戸ゆかりの美術館」「神戸ファッション美術館」2館で、昨年引き続き神戸で開催されます。



日展神戸展詳細

- ◆開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◆休館日 毎週月曜日

魚崎地域福祉センターに資源回収ステーション開設決定（2月中）

資源回収ステーションとは、プラスチックを資源として回収し、「まわり続けるリサイクル」を实践する拠点です。誰もが関わるとごみ出しをきっかけに地域交流が生まれるコミュニティ拠点として交流スペースも設けています。

利用者からは、「ごみ出しが楽しくなった」「いつでもだせて便利、容器包装プラスチックの指定袋を買わなくていい」「一人暮らしなので人のいるところへ行くと楽しくなる」「外出する機会が増えた」という声が届いています。



資源回収ステーション詳細

JR甲南山手駅 北側駅前広場がリニューアル

来訪者及び地域住民の方の憩いの場となるよう、今春完成をめざし、現在工事が進んでいます。

- 階段状のベンチを設置して人が滞留できる憩いのスペースを作り出します。
- ベンチ上方にパーゴラ（日除け）を設置し、日陰スペースを生み出します。
- 季節が感じられるシンボルツリー（ソメイヨシノ）を広場中央に植え込みます。
- ロータリーに一般車乗降スペースを設置し、駅への送迎が便利になります。



甲南山手駅前リニューアル



1月4日の現地の様子



きど 木戸 神戸市会議員 活動報告 2024.3



1974年生まれ

- 神戸大学卒業、京都工芸繊維大学大学院修了、淡路景観園芸学校修了
- 京都で植木職人として修行後、設計コンサル勤務。
国営明石海峡公園の基本設計や自治体の景観形成条例策定等に携わる。
- 兵庫県議会議員1期（2019～2023）
- 2023年4月より神戸市会議員（神戸市須磨区）

能登半島地震 支援の状況

被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い生活再建を願い私も取り組んでいきます。

災害派遣職員のケアを！

一過酷な支援の現場「水不足・宿泊施設不足」

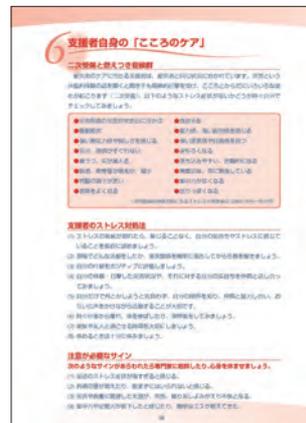
1月1日に発生した能登半島地震から二カ月余が経過した今も一万人以上の方が避難所での生活を余儀なくされており、現地は非常に厳しい状況が続いています。

神戸市では、消防隊をはじめ、健康・医療支援のための保健師の派遣、震災ごみ処理のための環境局職員の派遣など人的支援を続けていますが、宿泊施設の不足から職員は寝袋持参で現地の市役所に寝泊りし活動しています。また、断水による水不足もあり、これまでの支援でも過酷な現場となっているとの報告もあがっています。支援は息の長いものになりますが、これからは、その後の避難生活などで命を落とす

災害関連死も課題になってきます。

張り詰めた緊張の中で業務する職員のケアも大切で、DMAT隊員の調査では、派遣4年後に「燃え尽き・罪責感」といったPTSD症状が有意に関連しているとの研究結果もあり、職員の心のケアの必要性について、2月の予算委員会で健康局に質疑しました。

健康局では、重要性を理解していただき、早速に取り組みが始まりました!!



災害時の心の手引き（東京都作成）

過去の震災の教訓から創設された支援制度

阪神淡路大震災を契機に創設

緊急消防援助隊

阪神淡路大震災では、全国から応援に駆け付けた消防隊の指揮系統・運用に課題を残しました。

この時の教訓から、大規模・特殊な災害時に組織的に活動できるように、

あらかじめ全国の消防部隊を種別ごとに事前登録しておく制度が創設されました。今回、神戸市消防隊は要請に基づき輪島市に入っています。



東日本大震災で関西広域連合が実施

カウンターパート方式

東日本大震災において、関西広域連合の7府県が支援先を分担して責任を持つ「カウンターパート支援」を始め、地方自治体の組織的活動が注目されました。この年は「自治体連携元年」と呼ばれています。現在は、国で自治体間支援が制度化されており、今回、神戸市は珠洲市、能登町を中心に支援しています。



大規模災害時の課題「誰一人取り残さないために」

弁護士会と意見交換

阪神淡路大震災以降、我が国は災害大国であることが再認識され、復興に向けた多くの支援制度が確立し今日に至っています。

しかしながら、災害の状況はそれぞれ違うことに加え、制度の隙間は必ず存在します。

そんな隙間を埋めるべく、2月5日に弁護士会の方々と災害支援について意見交換しました。

弁護士会では、今回の能登半島地震でも1月4日から一カ月の間に5回の緊急提言を発表されています。

— 能登半島地震に関する緊急提言抜粋 — 【弁護士会】

早急な広域避難措置を講じること

災害ケースマネジメントの実施を

カウンターパート方式は官民連携で

ボランティア活動の早期推進を

被災者の名簿づくりに着手を

被災自治体職員の支えを早急に

住民の思いが反映される復興基金の創設を

制度の隙間を埋めよう！

「被災者生活再建支援制度」の拡充に取り組みます

被災者支援が不十分だった 阪神淡路大震災

阪神淡路大震災では、被災者支援のための制度も法律もなく、支援のためのお金は全国から集まった義援金しかありませんでした。

このため、被災者には生活を立て直すのに十分な額はいき渡りませんでした。

その経験から、震災から3年後の平成10年に生活再建支援制度が法制化されました。

同制度は、住宅の被害程度に応じて世帯に最大300万円を支給するもので、現在までに約26万世帯、約4,470億円が支給されています。

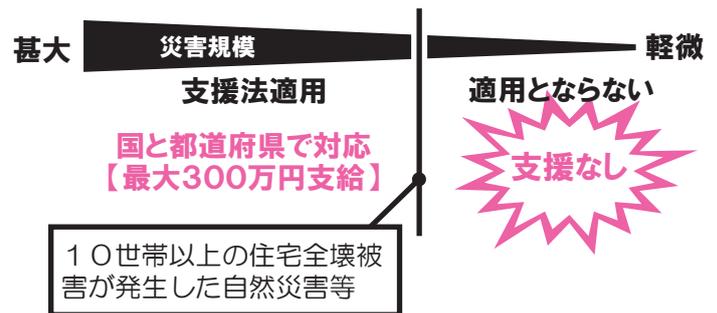
今回、岸田首相は2月1日、能登半島地震の被災者の生活再建を支援するため、支援金をさらに上乘せし、高齢者世帯などに最大600万円を支給する方針を表明しています。

大規模災害のみ対象

一方で、支給には要件があります。例えば、市町村では「全壊」とされた住宅が10世帯以上あることが必要で、9世帯までの災害に留まった場合は適用外となり被災者は支援を受けることがで

きなくなってしまう。

この問題を解決するには、自治体で9軒以下についての支援条例を制定する必要があり、国も自治体で対応を検討することを求めています。



被災者生活再建支援法のイメージ

誰一人取り残さない

昨年12月に実施した議会会派の市長要望で、市長に制度の隙間を埋める対応が必要ではと意見しましたが、その時点で市長から「一軒でも行政が支援するのかという問題もある」と前向きな回答は得られませんでした。

弁護士会の先生方と意見交換させていただく中では、ぜひ取り組むべきだという意見もいただきましたので、今後、議会においてしっかり取り組んでいきたいと考えています。

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！

神戸市会議員 木戸さだかず

〒654-0142

須磨区友が丘1丁目109

電話：070(7645)4168

メール：s-kido@jcom.zaq.ne.jp

自然災害で被災した住まいの備えには

県のフェニックス共済もあります。

年額5,000円の負担金で、最大600万円の住宅再建資金が給付されます。